

平成26年度第5回「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進会議」会議結果（概要版）

【日時】平成27年1月19日（月） 10時00分～11時20分

【場所】WEST19（中央区大通西19丁目）2階 研修室A・B

【議事】策定作業中の推進計画の進捗状況について報告。また、平成27年度札幌市食品衛生監視指導計画について概要を説明。併せて、今年度の「安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業」の進捗状況を説明。

【推進計画素案（修正版）について】

(1)	<ul style="list-style-type: none">・新しく指標に盛り込まれた「食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合」については、アンケートの質問の仕方に工夫が必要だと思う。（池田会長）・食の安全に意識のある人から前向きな回答が期待できるので、はっきりと知識の有無についての質問も盛り込んでもよいかと思う。（森委員） ⇒ 積極的な回答につながるよう、「食品表示を理解できるか」「食中毒の知識があるか」等、設問設定は十分考慮する。
-----	--

【平成27年度札幌市食品衛生監視指導計画（案）について】

(1)	<ul style="list-style-type: none">・食品衛生監視員の育成の部分で、昨年度、全国研修会で札幌市職員が賞をもらったとのことだが、どのような内容の発表だったのか。（池田会長） ⇒ きのこ鑑別相談のためのパソコンの検索システムの開発についての内容。
(2)	<ul style="list-style-type: none">・食品の異物混入が話題になっているところであり、異物を発見しやすい検査体制で監視を強化してほしい。（行方委員）・異物混入については、事業者側は保健所の指導に頼るのではなく、自らきちんと管理していかなくてはいけないと思う。（高橋委員） ⇒ どのような異物が混入するかは、製造している食品や業態によっても異なるため、それぞれに応じた対応が必要。また、マニュアルには書かれていないような従業員の意識づけも必要である。
(3)	<ul style="list-style-type: none">・「食品健康危機管理シミュレーション」の事業は、その参加者であれば実際に事例が生じた際すぐ対応できるようになることから、初動対応の良し悪しにつながるので、今後も回数を重ね、バリエーションを増やして継続してほしい。（加藤委員） ⇒ これまでホテルや高齢者施設等、シチュエーションを変えて実施しており、今後は本訓練を受けた人が自らの職場でも同じような訓練を行うというように、訓練の裾野を広げられるような事業としていきたい。

【その他】

・安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業の進捗状況について

(1)	・従来と比べ、行った事業を広報媒体などで外部へ発信することを意識しているように感じており、評価している。(森委員)
-----	---

・今後の会議開催について

現委員の任期は平成 27 年 7 月までであり、今後本会議に報告の必要な事案が生じない限り、定例の予定では今回の会議が最終となる旨説明。